

1 事業の概要

地域との組織的な連携によるスポーツ振興の一環として、包括的連携協定を結んでいる鹿屋市・垂水市の協力を得て、「スポーツ×ことば」コンクールを実施した。具体的には、期間を定めて、鹿屋市・垂水市にある小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、体育・スポーツを題材とする「五・七・五（俳句、川柳、標語など）」の作品を募集し、年代毎に優秀作品を選考し表彰する。

本プロジェクトを本学のスポーツを通じた地域活性化の取組の一つとして広報することで、地域連携によるスポーツ交流人口の増加の足掛かりとしたり、運営に保健体育教員を目指す学生を参画させることにより、専門的な知識・教養、事業運営力、指導者基礎力等を高めたりすることができる。このことは、初任年に困り感を抱くことの多い学校・地域行事等を企画、運営する力を高めることに結び付くと考えられる。

2 事業の実際

- 令和4年8月下旬から10月上旬にかけて、鹿屋市・垂水市教育委員会と連携を図り、鹿屋市・垂水市の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒に対して作品の募集を行った。
- 鹿屋市・垂水市の小学生より642作品の応募があり、小学1～3年生の分と4～6年生の部において、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作5点を優秀作品として選考し、本学ホームページと教育委員会や参加校へ配付したリーフレットにより紹介した。また、各学校において受賞伝達式を実施した。

【上:優秀作品、下:学校に特設された作品コーナー、各校の受賞伝達式の様子】

(3) 関係者の感想等

S小 校長	今年、体育大学さんに出前授業をしていただいたり、ことばのコンクールに応募させていただいたりして、これまで近くて遠いと感じていた大学をぐっと身近に感じる事ができた。
K小 教諭	体大が、このような取組もするのを知り嬉しかった。OBの職員も児童も喜んでた。来年は、より時間をかけ、受賞者を増やしたい。
入賞者の父	素晴らしい取組をされていること、息子が賞までいただけたこと、感謝の思いを伝えたくて電話した。近くに素晴らしい施設をもつ大学があるので、もっと活用できればと思う。
参画学生A	入力作業等を通して、子どもたちの生の声というか、運動やスポーツへの思いを感じ取れて良かった。
参画学生B	コンクールの運営の手順を学んだり、準備すべきものを知ったりすることができた。仕事自体、楽しかった。
参画学生C	教師になった時、教採を受ける時の準備というか、今後に繋がる経験をさせてもらい、ありがたかった。

3 まとめ

初めての取組、試行的な取組として、学校や児童生徒の反応を知るために、意図して積極的な広報活動を行わなかったものの、鹿屋市・垂水市の小学生より642作品の応募があった。広報活動を行うことで中学校も含めた応募増が十分見込める。実際に、令和5年度と同取組では中高生の応募もあり、総応募数1,354となった。地域連携によるスポーツ交流人口増の足掛かりとしたい。